

「御風の愛した良寛と糸魚川バタバタ茶」

ふりふり 振茶会

相馬御風が愛した
バタバタ茶って
どんなお茶？



新潟県内3会場で開催！
「振茶の里を訪ねて」パネル展無料+振茶券(菓子付)500円※各会場の入場料が必要になります

糸魚川会場 史跡・ 相馬御風宅

6/20(金)
▼
22(日)

日時:2025年6月20日(金)～22日(日) 9:00～16:00
住所:糸魚川市大町2丁目10番1号
入館料(一般)100円



新潟会場 国指定名勝 旧齋藤家別邸

7/4(金)
▼
6(日)

日時:2025年7月4日(金)～6日(日) 9:30～18:00
住所:新潟市中央区西大畑町576
観覧料(個人)300円



長岡会場 道の駅良寛の里わしま 和らぎ家

7/11(金)
▼
13(日)

日時:2025年7月11日(金)～13日(日) 9:30～16:00
※7/11(金)のみ13:00～16:00
住所:長岡市島崎5551
入場料(個人)100円



共催: 糸魚川ジオパーク協議会・良寛の里わしま・国指定名勝旧齋藤家別邸

協力: 福井市愛宕坂茶道美術館・いなぶ桶茶 茶温会 後援: 新潟県・御風顕彰団体「御風会」・日本茶インストラクター新潟支部

主催・お問い合わせ: 新潟糸魚川バタバタ茶の会 tel. 090-3083-2182(事務局: たかはら) E-mail niigatafuricha@gmail.com

最新情報は
こちらから！
Instagram・X



FURIFURIFURIFA



振茶とは

一般的に泡立てて飲むお茶は抹茶のイメージがありますが、振茶は煮出した茶液を泡立たせてから飲むお茶の習俗のこと。

新潟県にのこる唯一の振茶

「糸魚川バタバタ茶」

糸魚川に古くから伝わる「バタバタ茶(タテ茶)」は、カワラ茶や炒り大豆、ほうじ茶、茶の花を煮出し、少量の塩を加え、夫婦茶筌で泡立てて飲む珍しい風習です。名前の由来は、茶をたてる際に立つ「バタバタ」という音とも言われています。



ふりふり振茶会

相馬御風は、良寛研究家として世界に良寛の魅力を伝えるとともに、郷土の民俗風習にも関心を寄せ、随筆『野を歩むもの』で『タテ茶(バタバタ茶)』を「一挙四徳の良い風習」と紹介しました。糸魚川バタバタ茶は新潟県に残る唯一の振茶文化です。この素晴らしい文化を広めるため、パネル展で振茶文化を学び、糸魚川バタバタ茶を楽しむイベントを新潟県内3会場で開催します。

Event 1

日本茶々茶お茶紀行「振茶の里を訪ねて」パネル展

令和2年に福井市愛宕坂茶道美術館で開催された全国に残る振り茶を紹介したパネル展を、新潟で初展示します。

パネル解説会(糸魚川会場): 6月21日(土)10時・11時・13時/各回定員10人/解説料500円

解説担当: 高島礼(福井市愛宕坂茶道美術館・学芸員)

※最終日は閉館30分前終了。新潟会場、長岡会場の解説会は調整中

Event 2

糸魚川バタバタ茶を飲んで体験【振茶券500円(菓子付)】

指導: 石田千枝子(元糸魚川バタバタ茶の会・会長)

ぜひこの機会に「糸魚川バタバタ茶」をお楽しみください。期間中、石田さんの指導でない時間帯や日程の場合もあります。

※糸魚川バタバタ茶の提供は、各会場閉館時間の30分前までとなります



日本にあるほかの地域の振茶も楽しめます【6月21日(土) 糸魚川会場】

愛知県の振茶「桶茶」実演: 中根めぐみ(愛知県豊田市稲武地区に伝わるお茶)

「桶茶」は文化庁が認めた100年フードにも認定され、江戸時代の桶茶道具は有形文化財です。

※新潟会場、長岡会場は調整中

Event 3

糸魚川「バタバタ茶」と「良寛さま」紙芝居&朗読【約30分】

①12:00～ ②14:00～ ※各会場開催日の土日のみ

子どもから大人まで楽しめる、わかりやすい紙芝居で、糸魚川に伝わる「バタバタ茶」と「良寛さま」の魅力をご紹介します。さらに、御風の随筆『タテ茶』や「良寛逸話」を、新潟を拠点に活動する《越後語り座》が朗読でお届けします。

私たちは「ふりふり振茶会」を応援しています

糸魚川バタバタ茶製造販売 正香園・糸魚川市池原菓子舗・道の駅良寛の里もてなし家・良寛の里美術館・糸魚川塩の道資料館



振茶ふりふり 茶会ふりふり

